

2024年1月4日

各位

名古屋市中区栄三丁目33番13号
株式会社 中京銀行

頭取の年頭訓示要旨（頭取 小林 秀夫）

中京銀行（頭取 小林 秀夫）は、2024年1月4日（木）に年頭訓示を行いましたので、お知らせします。

その要旨は下記の通りです。なお、本部の一部役職員向けには対面で、その他行員には動画配信により伝達いたしました。

記

昨年は、日本銀行による長短金利操作の運用柔軟化が行われるなど、長らく続いた金融緩和政策が転換期を迎え、近い将来にもマイナス金利の解除が予想されている。「金利のある世界」では運用原資としての預金の重要性が高まってくるため、これまで取り組んできたソリューション営業力の向上に加え、預金獲得でも知恵を絞る必要が出てくる。そのような意味では、今年は当行の総合力が問われることになる。

2025年1月に当行と愛知銀行が合併することで誕生する「あいち銀行」の門出をこれ以上ないものとするためにも、当行が果たすべき責任を全うする必要があることを、深く胸に刻み込んでほしい。

年頭にあたり、皆さんに取り組んでほしいことを三点申しあげる。

1. チームワークを育む

愛知銀行との協業、合併に向けた取組みが加速している。今後、合併準備による業務上の負荷が高まってくるが、それを乗り越えるためには、チームワークが大切となる。チームワークとは、互いに強みを高め、弱みを補うことで、組織としての力を最大化させていくことである。チームワークを育むことで、さまざまな難局を乗り越えていってほしい。

2. 自分の限界を超えていく

現在、私たちはあいちフィナンシャルグループの第1次中期経営計画で求められる戦略人財創出の取組みや、システム事務統合に向けた研修など、学びの場に参加する機会が増えている。自ら身につけたいスキルや、研修で学んだことを確実に習得するためには、継続的かつ繰り返しの努力が必要であり、「自分の限界を超えていく」という考えが重要となる。ぜひ、皆さんには「自分の限界を超えていく」ための、少しずつの積み重ねを大切にしてほしい。

3. お客様と組織に貢献する

私の頭取就任以来、ソリューション提供を通じてお客様の課題を解決し、その対価として得られる収益により、組織の力を高めることに注力してきた。これまで私のもとには、お客様への貢献を突き詰めた結果による成功事例が数多く報告されている。お客様への貢献が、組織への貢献につながるということを、当行の財産として引き続き大切にしてほしい。



<本店の訓示風景>

以上